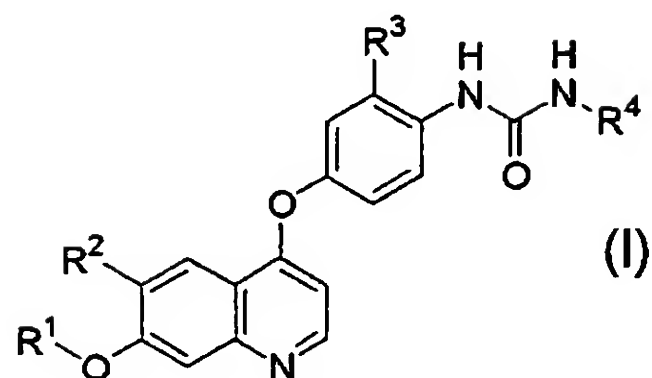


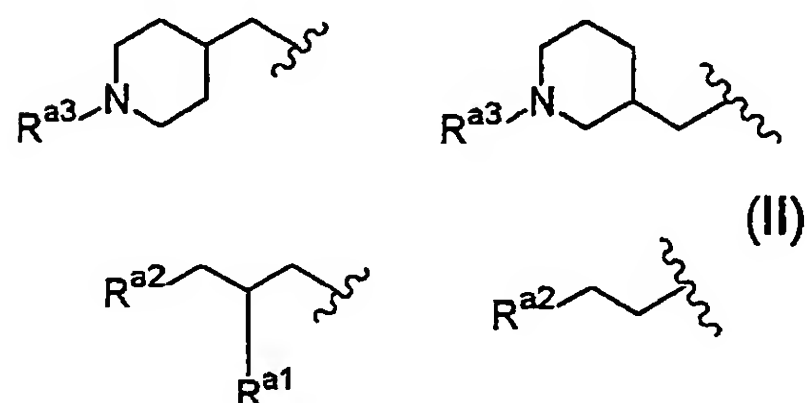
WHAT IS CLAIMED IS:

1. 一般式 I :



[式 I 中、

5  $R^1$  はメチル基、2-メトキシエチル基または式 I I :



10 (式 I I 中、 $R^{a3}$  はメチル基、シクロプロピルメチル基またはシアノメチル基を意味する； $R^{a1}$  は水素原子、フッ素原子または水酸基を意味する； $R^{a2}$  は、1-ピロリジニル基、1-ピペリジニル基、4-モルフォリニル基、ジメチルアミノ基またはジエチルアミノ基を意味する。) の何れかで表される基を意味する；

$R^2$  はシアノ基または式  $-CONHR^{a4}$  (式中、 $R^{a4}$  は水素原子、 $C_{1-6}$  アルキル基、 $C_{3-8}$  シクロアルキル基、 $C_{1-6}$  アルコキシ基または  $C_{3-8}$  シクロアルコキシ基を意味する。) で表される基を意味する；

15  $R^3$  は水素原子、メチル基、トリフルオロメチル基、塩素原子またはフッ素原子を意味する；

$R^4$  は水素原子、メチル基、エチル基、 $n$ -プロピル基、シクロプロピル基、2-チアゾリル基または4-フルオロフェニル基を意味する。) で表される化合物

もしくはその塩またはそれらの水和物を有効成分とする c-Kit キナーゼ阻害剤。

2.  $R^1$ がメチル基である、請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

3.  $R^4$ がメチル基、エチル基またはシクロプロピル基である請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

5 4.  $R^3$ が水素原子、塩素原子またはフッ素原子である請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

5.  $R^2$ が式 $-\text{CONHR}^{a4}$  (式中、 $R^{a4}$ は水素原子またはメトキシ基を意味する。) で表される基である、請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

6. 一般式Iで表される化合物が、

10 (1) 4-(3-クロロ-4-(シクロプロピルアミノカルボニル) アミノフェノキシ)-7-メトキシ-6-キノリンカルボキサミド、

(2) 4-(3-クロロ-4-(エチルアミノカルボニル) アミノフェノキシ)-7-メトキシ-6-キノリンカルボキサミド、

15 (3) N6-メトキシ-4-(3-クロロ-4-(シクロプロピルアミノ)カルボニル) アミノ) フェノキシ)-7-メトキシ-6-キノリンカルボキサミドおよび

(4) N6-メトキシ-4-(3-クロロ-4-(エチルアミノ)カルボニル) アミノ) フェノキシ)-7-メトキシ-6-キノリンカルボキサミド

20 からなる群から選ばれるいずれか1の化合物である、請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤。

7. 請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤を有効成分とする、c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌を治療する抗癌剤。

25 8. c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌が、急性骨髄性白血病、肥満細胞性白血病、小細胞肺癌、GIST、睾丸腫瘍、卵巣癌、乳癌、脳腫瘍、神経芽細胞腫または大腸癌である請求項7に記載の抗癌

剤。

9. c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌が、急性骨髄性白血病、小細胞肺癌または GIST である請求項 7 に記載の抗癌剤。

5 10. 患者から取り出した癌細胞が c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現することを確認した後に投与することの特徴とする、請求項 7 記載の抗癌剤。

11. 請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤を有効成分とする、肥満細胞症、アレルギーまたは喘息の治療剤。

10 12. 請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤の薬理学上有効量を、c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌を患った患者に投与する、癌の治療方法。

15 13. c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌が、急性骨髄性白血病、肥満細胞性白血病、小細胞肺癌、GIST、睾丸腫瘍、卵巣癌、乳癌、脳腫瘍、神経芽細胞腫または大腸癌である請求項 12 記載の方法。

14. c-Kit キナーゼを過剰発現する、または変異型 c-Kit キナーゼを発現する癌が、急性骨髄性白血病、小細胞肺癌または GIST である、請求項 12 記載の方法。

20 15. 癌の治療方法であって、  
癌を患った患者から癌細胞を取り出す工程と、  
当該癌細胞が c-Kit キナーゼを過剰発現している、または変異型 c-Kit キナーゼを発現していることを確認する工程と、  
請求項 1 記載の c-Kit キナーゼ阻害剤の薬理学上有効量を当該患者に投与する  
25 工程と、  
を含む癌の治療方法。

16. 肥満細胞症、アレルギーまたは喘息の治療方法であって、請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤の薬理学上有効量を、前記疾患を患った患者に投与する、治療方法。

5 17. 請求項1記載の c-Kit キナーゼ阻害剤の薬理学上有効量を、c-Kit キナーゼを過剰発現しているまたは変異型 c-Kit キナーゼを発現している細胞に適用する、c-Kit キナーゼ活性を阻害する方法。